

**Logitech** Bluetoothバージョン2.1+EDR対応  
**Bluetooth ワイヤレスヘッドホン**  
 LBT-AVNBO2 シリーズ 取扱説明書 V01

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書は、Bluetooth ワイヤレスヘッドホンの使用方法や、安全にお取り扱いいただくための注意事項などを記載しています。本書の内容を十分にご理解いただいた上で本製品をお使いください。また、本書は、いつでも読むことができる場所に大切に保管しておいてください。

この取扱説明書では、特に断りのないかぎり製品名を代表して「LBT-NBO2」と表記しています。動作は共通です。

## 製品の特長

Bluetooth に対応したスマートフォン、携帯電話及びオーディオプレーヤーの音楽をワイヤレスでお楽しみいただけます。また、通話用のマイクを搭載しているため、スマートフォンや、携帯電話との接続の際はハンズフリー通話も可能です。「Bluetooth2.1+EDR」に対応しており、同規格に対応した機器と簡単にペアリング操作を行うことができます。

- 装着感のよいネックバンドタイプで、IPX4 相当の防滴設計なので、汗や雨に強く、ランニングやエクササイズ時に音楽を楽しみたいときに最適です。
- ヘッドホンのボタンから、接続したプレーヤー (AVRCP 対応) の操作ができます。プレーヤーを操作することなく、曲送り / 曲戻し、音量調整の操作を行うことができます。
- 通話用のマイクを搭載しているため、対応したスマートフォン、携帯電話との接続でハンズフリー通話も可能です。とっさの着信にも対応でき、電話の取り逃しを避けることができます。

本製品は、Bluetooth で接続機器と接続します。ご使用になる前に、接続機器 (スマートフォン / オーディオ) とペアリング操作によって登録を行う必要があります。

接続のときに必要な情報です。

- 携帯電話やパソコンから検索するときの本製品の名称 (デバイス名)
  - LBT-NBO2
- パスキー
  - 0000 (ゼロ 4 つ)

※パスキーは、Bluetooth2.0 以下の規格の機器と接続する場合に必要です。

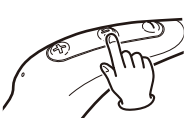
## パッケージ内容の確認

- ・ヘッドホン本体 1 台
- ・ユーザーズマニュアル (本書) 1 部
- ・簡単ペアリングガイド 1 部
- ・USB-AC アダプタ 1 台
- ・USB 充電ケーブル 1 本

## STEP 2 ペアリングします (機器の登録)

本製品をお手持ちの携帯型オーディオプレーヤーや携帯電話で使用するためには、ご使用になる機器とペアリング (機器を初期登録する作業) をおこなう必要があります。ご使用になる機器側の操作については、お手持ちの機器の取扱説明書をお読みください。

すでにペアリング (登録) 済みの場合は、電源がオンになった時点でボタンから手を離してかまいません。電源をオンになった後、自動的に再接続されます。接続されない場合、本製品または、接続する機器側から接続操作を行い、接続します。

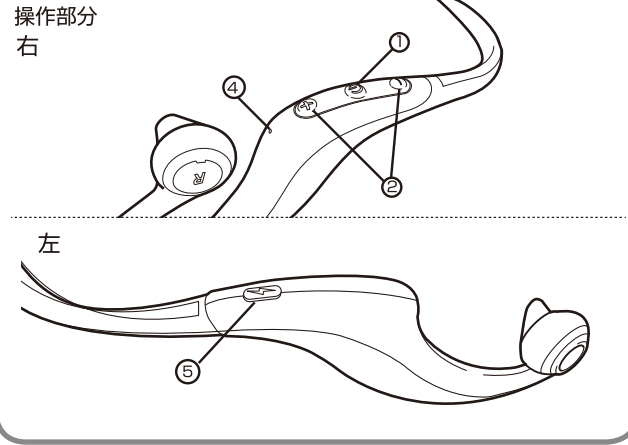
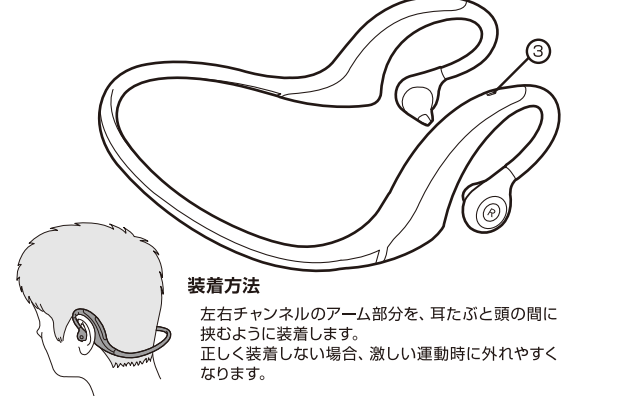
- 電源OFFの状態から、マルチファンクションボタンを8秒以上長押しし、LEDランプを赤青点滅させます。**


ボタンを押し続けている5秒間に、LEDランプの表示は次のようになります。

**青で数回点滅** (電源 ON 約3秒後) → **赤青点滅** (ペアリングモード 約5秒後)
- ペアリングしたい機器 (携帯電話や携帯型オーディオプレーヤー) から、本製品を検索します。**
  - 検索方法はご使用の機器によって異なります。ご使用の機器の取扱説明書や付属のペアリングマニュアルなどを参照してください。
  - 携帯電話や携帯オーディオプレーヤーから本製品が見つかったら、デバイス名「LBT-NBO2」が検索画面上に表示されますので、選択して登録します。
  - パスキーの入力を促すメッセージが表示されたら、「0000」 (ゼロ4つ) と入力します。
  - ※Bluetooth 2.1 対応機器ではパスキーを入力しなくても登録が完了する場合があります。
- ペアリングが完了すると、LEDランプがゆるやかな青色の点滅に変わります。(点滅パターンは、機能一覧表を参照ください。)**

- ペアリング情報は、8つまで記憶できます。8つ以上登録した場合は、古い情報から順番に削除されます。削除された機器と再接続する場合は、再度ペアリングが必要です。
- 携帯電話をオーディオプレーヤーとして本製品に接続する場合は、携帯電話がBluetoothのオーディオプロファイル(A2DP)に対応している必要があります。
- ペアリング先の機器の設定状態などの原因でペアリングが完了しない場合は、いったん電源を切ってやり直してください。
- 本製品は「Bluetooth 2.1+EDR」に準拠しています。対応機器と接続する場合は、パスキーの入力を省略できます。

## 各部の名称とはたらき



## STEP 3 基本操作

### 電源のオン/オフ

■ **電源ON**

本製品のマルチファンクションボタンを、LEDが青色で数回点滅するまで (約5秒) 長押しします。

すでにペアリング済みの機器が近くにある場合、自動的にその機器に接続を試みます。再接続されない場合、本製品のマルチファンクションボタンを一度か二度押ししたり、携帯電話等接続先の機器の設定を確認し、携帯電話側から接続操作を試みてください。これで再接続されない場合は、再度ペアリングが必要です。ペアリング相手が見つからず、接続がない場合は、3秒に1回の青色点滅になります。

携帯電話より「LBT-NBO2からの接続を許可する」操作や「接続」操作が必要な場合があります。

■ **電源OFF**

電源がオンの状態から、本製品のマルチファンクションボタンを5秒以上長押しします。LEDランプが赤色に点滅したあと、消灯して電源が切れます。

■ **音楽の再生 / 一時停止 / ミュート**

本製品の再生 / 一時停止ボタンで行います。再生中に再生 / 一時停止ボタンを押すと、再生中の音楽を一時停止します。AVRCP非対応機器の場合は、音声ミュートします。

■ **音量調整**

ボリューム調整は、音量調整ボタンを短く押します。+を押すとボリュームが大きくなり、-を押すとボリュームが小さくなります。

■ **曲送り / 曲戻し**

曲送り / 曲戻しは音量調整ボタンを長く約2秒押すことで行います。-を長く押すと曲送り、+を長く押すと曲戻しになります。※接続先の機器により機能しない場合があります。

オートパワーオフ機能について

携帯電話の電源を切るなど、接続中の機器からの送信が途切れた場合や、電源をONにしたあと、ペアリング相手がいない場合、約5分後にLEDが赤色に点滅した後に電源がOFFになります。

■ **重要なご注意**

付属のUSB充電ケーブルは、本製品専用です。本製品の充電以外には利用しないでください。コネクタ形状が同じでも、電極や出力が異なることがあり、故障の原因となります。同様に、他の製品に付属の充電ケーブルで本製品を充電しないでください。

## 各部の名称とはたらき

- ① マルチファンクションボタン
  - 接続操作や、接続した機器の再生 / 一時停止操作を行うためのボタンです。
  - 電源 ON ..... 約 3 秒長押しすることで、青に点滅し電源 ON になります。
  - 再生 / 一時停止 ..... 音楽の再生 / 一時停止します。AVRCP (リモコン機能) に対応した機器と接続の場合、接続先の機器音楽の再生 / 一時停止ができます。AVRCP に対応していない場合はミュートになります。
  - 電源 OFF ..... 電源を ON の状態から、3 秒長押しすると、LED が赤で点滅し電源 OFF になります。
  - ペアリング ..... 電源が OFF の状態から、5 秒以上長押しすることで、ペアリングモード (携帯電話等から検索できる状態) に切り替わります。このとき、LED は赤、青の交互点滅になります。
- ② 曲送り / 曲戻し
  - AVRCP (リモコン機能) に対応した機器と接続の場合、マイナスを 2 秒程度長押しをすると曲送り、プラス側を 2 秒程度長押しすると曲戻しになります。
- ② 音量調整ボタン
  - 音量を大きくするときは、プラス側を押します。音量を小さくするときは、マイナスを押します。
- ③ LED ランプ
  - 電源や製品の状態を示す LED ランプです。「機能一覧表」を参照してください。
- ④ 通話用マイク
  - ハンズフリープロファイル / プロファイルで接続時に通話するためのマイクです。
- ⑤ 充電コネクタ
  - 充電をするときに、付属の USB 充電ケーブルを接続します。防滴性能を維持するために、キャップは必ず締めてからご使用ください。

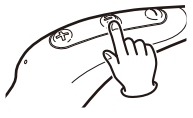
## 音楽を聴く

本製品とA2DP対応の携帯電話、携帯音楽プレーヤーを接続後、音楽を再生することで、プレーヤーの音声を本製品から聴くことができます。また、AVRCP (リモコン機能) に対応した機器との接続なら、本製品からプレーヤーの操作をすることができます。

リモコン機能動作は、接続する機器や使用する音楽プレーヤーのアプリケーションによって動作しないことや、動作が異なることがあります。

■ **音楽の再生 / 一時停止 / ミュート**


本製品の再生 / 一時停止ボタンで行います。再生中に再生 / 一時停止ボタンを押すと、再生中の音楽を一時停止します。AVRCP非対応機器の場合は、音声ミュートします。



マルチファンクションボタンを短く押す。

■ **ボリューム調整**


ボリューム調整は、音量調整ボタンを短く押します。+を押すとボリュームが大きくなり、-を押すとボリュームが小さくなります。



音量調整ボタンを短く押す。

■ **曲送り / 曲戻し**

曲送り / 曲戻しは音量調整ボタンを長く約2秒押すことで行います。-を長く押すと曲送り、+を長く押すと曲戻しになります。※接続先の機器により機能しない場合があります。



音量調整ボタンを長く(約2秒)押す。


機能一覧表		
機能・状態	操作	LED表示
電源ON	マルチファンクションボタンを約3秒長押し	青点滅
ON後の状態	いずれの機器とも接続されていない状態	3秒毎に青色1回点滅
	機器との接続時	4秒毎に青色2回点滅
電源OFF	マルチファンクションボタンを約3秒長押し	赤点滅後消灯
充電中	-	赤色で点灯
充電完了	-	消灯
バッテリー容量不足	-	30秒毎に赤2回点滅
ペアリングモード	電源OFFからマルチファンクションボタンを約5秒長押し	赤色と青色で交互に点滅
音量調整	音量調整ボタンを押して操作します。	-
一時停止 / ミュート	マルチファンクションボタンを一度押し	-
曲送り / 曲戻し	音量調整ボタンを長押しすることで操作します。	-
電話を受ける	着信中にマルチファンクションボタンを短く一度押し	-
電話を切る	通話中にマルチファンクションボタンを短く一度押し	-
リダイヤルする	待受け時にマルチファンクションボタンを続けて2度押し	青色ですばやく点滅

## STEP 1 充電します

本製品は、ご使用の前に充電をしておく必要があります。充電は、付属のUSB充電ケーブルとUSB-ACアダプタ、または通電されたパソコンなどのUSB電源と接続して行います。

■ **付属のUSB-ACアダプタやパソコンのUSBポートに接続**

■ **製品本体の充電コネクタに接続します。**



LEDランプは充電中は赤色に点灯。充電が終わると消灯します。

● 充電が完了するまで、約2時間かかります。2時間経過後でもLEDランプが消灯しない場合は、充電ケーブルを取り外し、いったん充電を取りやめてください。2時間を越えて充電を続けると、電池寿命が短くなったり、故障の原因となります。

## 携帯電話などで通話する

本製品とHFP/HSP対応の携帯電話やスマートフォンを接続すれば、本体に通話用のマイクを通して、通話することができます。本製品のマイクは本体右側正面に搭載されています。

● 以下に説明する機能は、ヘッドセットプロファイル(HSP)およびハンズフリープロファイル(HFP)でペアリングしたときのみ利用できます。

● 携帯電話の仕様によっては、以下に説明する本製品の操作に対する携帯電話の動作が異なることがあります。携帯電話側のマニュアルを参照ください。

■ **電話を受ける**

着信があると着信音が聞こえます。このとき音楽を聴いている最中の着信の場合、音楽の再生が中断されます。マルチファンクションボタンを押すことで、そのまま通話することができます。

※携帯電話の仕様上、Bluetooth ヘッドホンに着信メロディは設定できない場合があります。

■ **発信する**

任意の相手先に発信する場合は、ご使用の携帯電話側で発信操作を行い、その後出力先の切り替えを行います。

iPhone 4の場合 発信後→音声出力先に本製品(LBT-AR120)を選択。

Androidの一例 発信後、Menuボタンを押し、Bluetoothのボタンを押す。

docomoの一例 発信後に、「通話」ボタンを長押しします。

auの一例 携帯電話側で発信操作後、携帯電話の「EZ」ボタンを押します。

※出力先切り替え方法についてはご使用の携帯電話の取扱説明書をご参照ください。

■ **電話を切る**

通話状態で、マルチファンクションボタンを1回押します。

■ **リダイヤルをする。**

マルチファンクションボタンを2回連続押します。

■ **パソコンで音声チャットする**

パソコンで音声チャットする場合は、パソコン側で通話開始 / 終了の操作をします。音声チャットの開始 / 終了および設定方法は、ご使用のソフトウェアやOSにより異なります。詳細はご使用のソフトウェアまたはOSのマニュアルやオンラインヘルプをお読みください。

裏面に続く

## 困ったときは...

### ■携帯電話で通話の音声が聞こえない

一部の携帯電話では、通話中に約20秒以上の無音状態が続いた場合に、自動的に省電力モードになり、イヤホンジャックの音出力がオフになります。そのため、通話中でも音声が聞こえなくなることがあります。このような場合は、本製品のマルチファンクションボタンを押して、携帯電話の省電力モードを解除してください。

### ■本製品の電源が入らない。

本製品のバッテリーが充電されているかどうかを確認してください。バッテリーが充電されていない場合は、バッテリーを充電してください。

### ■ノイズやエコー音が入る

ペアリング相手との距離を変えてみる。音量を調節してみるなどをお試しください。

### ■携帯電話の着信時にマルチファンクションボタンを押しても通話できない

一部の携帯電話では、着信時に本製品のマルチファンクションボタンを数回押さないと通話を開始できない場合があります。マルチファンクションボタンを1回だけ押しても通話できないときは、数回押してみてください。

### ■通話相手に自分の声が聞こえない

一部の携帯電話では、イヤホンのマイク入力が有効になるように、手動で設定する必要がある機種があります。マイク入力が無効になっていると、ヘッドホンのマイクからの音声が通話相手に聞こえません。

### ■着信前に留守番転送されてしまう

着信から留守番電話サービスに転送するまでの時間が短く設定されていると、本製品に音声転送される前に留守番転送されてしまいます。このような場合は、留守番電話サービスへの転送時間を長めに設定してください。

### ■オーディオファイルの音声が聞こえない

ファイルやWebサイトによってはBluetoothでのオーディオ再生をサポートしていない場合があります。オーディオファイルをダウンロードしたサイトにお問い合わせください。

### ■Bluetooth搭載機器とペアリングできない

○機器側のBluetooth機能が使用可能な状態であることを確認してください。ペアリングモードが時間切れのため終わっている場合は、再度設定する必要があります。○ご使用の機器が本製品のプロファイルに対応しているかを確認してください。

### ■携帯電話でワンセグ以外の動画音声が聞こえない

携帯電話の仕様により、ダウンロードしたプロモーションビデオ等の音声がBluetoothでは視聴できない場合があります。

### ■発信時にヘッドホンが使えない。

携帯電話から発信した場合、スピーカ/マイクを本体からBluetoothヘッドホンへ切り替え操作が必要です。操作方法は、携帯電話の説明書をお読みください。

#### 【一般的な操作】

iPhone4の例　⇒ 発信後、音声出力先に本製品(LBT-NB02)を選択。
Androidの一例　⇒ 発信後、Menuボタンを押し、Bluetoothのボタンを押す。
docomoの一例　⇒発信後に「通話」ボタンを押します。
auの一例　⇒発信後、「EZ」ボタンを押します。

### ■自分の声が小さい

携帯電話等、出力先の機器のマイクレベルを調整してみてください。

### ■他の携帯電話で利用後、ペアリングが必要になった

携帯電話、その他機器によっては、ペアリング済みのヘッドホンでも他の携帯電話で利用後は、再度ペアリングからやり直す必要がある場合があります。

### ■携帯電話でダウンロードしたPVの音声が聞こえない

デジタル著作権保護のため、デジタル対応のBluetoothヘッドホンでは再生できません。

<b>基本仕様</b>	
LBT-AVNBO2	
製品仕様	Bluetoothヘッドホン
デバイス名	LBT-NB02
Bluetooth仕様	Bluetooth2.1+EDR
キャリア周波数	2.4GHz帯
周波数拡散方式	FHSS
伝送距離	最大半径約10m（ただし障害物を除く） <sup>*1</sup>
対応プロファイル <sup>*2</sup>	HFP/HSP(ハンズフリー通話機能) <p>A2DP(音楽機能)</p> <p>AVRCP (UJモコン機能)</p>
防水性能	IPX4相当
SCMS-T	対応
記憶可能なペアリング台数	8台
連続待受時間	約140時間
音楽再生時間/通話時間	8時間/7時間 <sup>*3</sup>
環境条件	
動作時温度/湿度	0℃～35℃　20%～80%（ただし、結露なきこと）
保管時温度/湿度	-10℃～45℃　10%～90%（ただし、結露なきこと）
入力電圧	DC +5V（USB充電ケーブルから給電）
外形寸法(幅×奥行×高さ)	135×135×50mm
質量	約35g

<sup>[1]</sup> 理論値です。また、距離は、通話対象のBluetooth機器の性能や、周囲の環境に依存して変化します。

<sup>[2]</sup> 一方で音楽ファイルへ送話ファイルと同時に使用している場合、別の機器との接続はできません。

<sup>[3]</sup> 通話対象のBluetooth機器との距離が長い場合は、それぞれの消費電力が増加するため、時間が短くなる場合があります。


- 2.4GHz帯を使用する無線LAN（IEEE802.11g/b/n）との併用は、電波干渉の発生により、利用できないことがあります。

- 本製品に対して、すべてのBluetooth機器の動作を保証するものではありません。

## 取り扱い上の注意

### ■正しく安全にお使いいただくために

本製品を正しく安全にお使いいただくために、以下の重要な注意事項を必ずお守りください。

	<b>警告</b> ここに記載された事項を無視すると、使用者が死亡または障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。
---	---

#### ●車の運転中には使用しないでください。

車の運転中にはヘッドホンを使用しないでください。また、歩行中でも、駅のホームや交差点、工事現場などでは本製品の使用を中止し、周囲の状況をよく確認ください。

#### ●万一、異常が発生したときは、

本製品から異臭や煙が出たときは、ただちに使用を中止し、電源を切り、充電中の場合は、付属のUSB充電ケーブルをパソコンまたはUSB ACアダプタなどのUSB電源から抜いてください。その後は本製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。

#### ●高温のまま放置しないでください。

本製品は精密な電子機器です。高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

#### ●車の中には絶対に放置しないでください。

本製品を高温の車内に長時間放置しておくと、内部電池の破裂・発火・故障の原因となり大変危険です。

#### ●充電には付属の充電機器以外使用しないでください。

本製品は内部電源にリチウムイオン充電電池を使用しています。この電池は扱いを誤ると発火の危険性があります。本製品の充電には、付属の充電器または付属のUSB充電ケーブル以外は使用しないでください。異なるものを使用すると、発火・故障の原因となりますので、絶対におやめください。

#### ●充電が終わったら、必ず充電ケーブルを取り外してください。また、必要な充電時間を経ても充電が完了しない場合も、いったん充電を終えてから充電ケーブルを取り外してください。

所定の充電時間を超えて充電をおこなった場合、内部電池が発熱・発火・破裂する危険性があります。また、電池寿命に影響を与える場合があります。

#### ●着信音量の設定には十分気をつけてください。

携帯電話とペアリングして使用しているときに、着信音に驚いて事故の原因となったり、心臓に影響を与える恐れがあります。

#### ●分解しないでください。


本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。

#### ●接続に使用するコードを傷つけないでください。

火災や断線の原因となります。

#### ●病院内や航空機の中などでは使用しないでください。

高度な安全を要求される場所では絶対に使用しないでください。特定医療機関や航空機の計器類などの誤動作の原因になります。

	<b>注意</b> ここに記載された事項を無視すると、けがをしたり、物的損害を受ける恐れがある事項です。
---	--

#### ●屋外で使用する際は、周りの安全に十分に注意してご使用ください。

屋外で使用する際は、周りの状況がわかるように、音量を適度に調整してご使用ください。また交通量の多い道路など注意が必要な場所での使用は避けてください。

#### ●水気の多い場所での使用／保管は行わないでください。

本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。

#### ●小さなお子様の手の届くところに保管しないでください。

誤飲など思わぬ事故を招く場合があります。

#### ●本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。

#### ●車載機器と電波干渉が起こる場合は使用しないでください。

ご使用のお車により、まれに車載機器との間で電波干渉が起こる場合があります。そのような場合は、本製品の使用を中止してください。

#### ●充電中は、本製品およびUSB充電ケーブルの周りに物を置かないでください。発熱、発火、火災、やけどの原因となります。

#### ●ご使用の際は、接続機器の取扱説明書の指示に従ってください。

本製品は、パソコンや携帯電話などと無線通信による使用が可能です。接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。

#### ●定期的に充電をおこなってください。

本製品を長期間使用しない場合でも、1ヶ月に一度を目安に充電をおこなってください。

#### ●日本国以外では使用しないでください。

この装置は日本国内専用です。他国には独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証いたしかねます。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねますのでご注意ください。

<p>防水性能について</p> <p>本製品の防水性能を示すIPX4とは、あらゆる方向からの飛沫による有害な影響がない防水性能を示します。水洗いや水没などには適しませんので、ご注意ください。</p>
---

右上に続く

### ■廃棄について

本製品は内部電池にリチウムポリマー電池を使用しています。リチウムポリマー電池はリサイクル可能な資源です。リサイクルにご協力いただける場合は、弊社テクニカルサポートへご相談ください。弊社テクニカルサポートへの連絡先は「サポート修理受付窓口のご案内」をご参照ください。

## ■その他:こんなことにも注意してください

- ・衝撃や振動の加わる場所、高温・多湿の場所、直射日光が長時間当たる場所での使用、保管は避けてください。
- ・本製品は精密機器です。落としたり、強い衝撃を加えないでください。
- ・湿度、湿度の特に高い場所(自動車のダッシュボードや、暖房器具の近くなど)や直射日光が長時間あたる場所、静電気の発生しやすい場所、ホコリの多い場所には置かないでください。
- ・本製品が汚れたときは、水または中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーを使用すると変形、変色の原因となります。

### ■電波に関する注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定省電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、弊社テクニカルサポートにご相談いただき、混信回避のための処置等(たとえば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社テクニカルサポートまでお問合せください

使用周波数帯域	: 2.4GHz
変調方式	: 周波数拡散方式 FHSS (Frequency Hopping Spread Spectrum)
想定干渉距離	: 約 10m (障害物のない場合)
周波数変更の可否	: 全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

### ■内蔵バッテリーについて

バッテリーは、正常に使用した場合でも劣化する消耗部品です。バッテリーの消耗は、特性であり故障ではありません。保証期間内においても内蔵バッテリーは有償修理となります。

- 本製品を使用せず、長期間保管していた場合、バッテリー性能は低下します。何回か充放電を繰り返すと回復します。
- 周囲温度が低い環境では、持続時間が短くなります。
- リチウム電池はリサイクル可能な資源です。リサイクルにご協力いただける場合は、テクニカルサポートへご相談ください。

## サポート修理受付窓口のご案内

### ■製品に関するお問い合わせ

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、国外での使用、国外からの問い合わせにはサポートをおこなっておりません。

This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。

ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

サポートページ	6409.jp	（“http:” は必要ありません）
---------	---------	--------------------

テクニカルサポート（ナビダイヤル）	0570 - 022 - 022
月～土（祝日営業）	10:00-19:00 ※夏期、年末年始、特定休業日を除く

お問合せの前に、以下の内容をご留意ください。

- ・弊社製品の型番
- ・ご利用の携帯電話、iPod、ゲーム機などの型番
- ・ご質問内容（症状、やりたいこと、お困りのこと）

※可能なかぎり、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

### ■修理について

製品保証は、日本国内においてのみ有効です。国外からの修理依頼は、保証期間の有無を問わず対応いたしません。

This warranty is valid only in Japan.

製品本体、ACアダプタ以外の付属品\*は、保証対象ではありません。付属品問い合わせ窓口へメールにてご相談ください。

http://www.logitec.co.jp/pro/fuzoku.html

\* 付属品の例：イヤーフック、イヤークャップ、イヤホン、ケーブル類、スタンドなど
依頼の手順、修理依頼書（PDFファイル）をインターネットへ掲載しております。また、修理終息製品の検索も可能です。ご利用が可能であればご確認ください。

http://www.logitec.co.jp/support/service.html

修理は、修理センターへお送りいただいた依頼品を修理（製品交換の場合あり）してご返却します。保証期間中の修理については、保証規定に従い修理します。保証期間の有無が確認できない場合、保証期間を超えた修理については有料となります。ただし、生産終了後の経過期間によっては修理できない（修理終息）場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### ■修理で依頼時の確認事項

- ・修理期間中の貸出機、代替機はありません。
- ・保証期間の有無にかかわらず、ご送付いただく際の送料はお客様負担となります。
- ・輸送中の紛失、破損に関して弊社では責任を負いかねます。梱包材を用いて梱包し、必ず発送の控えが残る宅配便にてご送付いただき、依頼品がお手元に戻るまで発送の控えは大切に保管してください。
- ・保証期間内の修理を依頼される場合は、ご購入年月日の確認できる販売店印のある保証書、保証書シール、レシートを添付してください。
- ・依頼品には、お客様の氏名、連絡先（ご住所 / 電話番号）、故障の状態を書面に添付してください。

### ■修理依頼先

〒396-0111 長野県伊那市美郷8268番地1000
ロジテック株式会社 3 番窓口 エレコムグループ修理センター
TEL：0265-74-1423 FAX：0265-74-1403

- 電話受付時間月～金　9:00～12:00、13:00～17:00
- ※祝日、夏期、年末年始、特定休業日を除く

製品に関する技術的なお問い合わせや、修理が必要かどうかのお問合せについては、テクニカルサポートへお願いします。

Bluetooth および Bluetooth ロゴは米国 Bluetooth SIG,Inc. の商標です。そのほか、この取扱説明書に掲載されている商品名 / 社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における ® および TM は省略しています。
Bluetooth ワイヤレスヘッドホン取扱説明書 (LBT-AVNBO2シリーズ用) 2011年6月 第1版


© 2011 LOGITEC CORPORATION All rights reserved.

右上に続く